

歴史的都心街区でのまちなか再生

あなやこころじ
姉小路界隈を考える会 会長 市古 和弘

1. 地域づくり方針・目的

・会の設立

平成7年10月

・会の目的

豊かな歴史と伝統を有する姉小路界隈において、この地で生まれ、継承されてきた、優れた精神性（こころ）の再認識を行い、まちを支える人のつながりを大切に、住みよい、安心して暮らせる環境づくりや、まちに住み、働く人々に愛され、誇りに思える町並みづくりなどを皆で考え、皆の手でまちづくりにつなげていくこと

2. 取組み内容

・会の活動

会主催の様々なイベントを継続して実施している。

→ 「灯りでむすぶ姉小路界隈」、「花と緑でもてなす姉小路界隈」等

・地域共生の土地利用検討会の取組（平成12年1月～平成14年8月）

会設立に契機となったマンション建設用地を対象に、事業者と地元住民とが共に検討する「パートナーシップ型まちづくり」を実践。

- ・「姉小路界隈町^{ちょうしきもく}式目（平成版）」の策定（平成12年4月）
- ・「姉小路界隈地区・松長町地区建築協定」締結（平成14年7月）
- ・NPO法人「都心界隈まちづくりネット」設立（平成15年1月）
- ・「姉小路界隈まちづくり協定」締結（平成16年9月）
- ・「姉小路界隈地区街なみ環境整備事業」実施中（平成16年度から）

3. 苦労点、達成度等

- ・ 会設立から満10年を迎え、当初のマンション建設反対運動から様々な市民主導のまちづくり活動に広がり、町式目や建築協定のまちづくりルールづくりから京町家再生事業にまで広がっている。

4. 効果・反響等

- ・ 会の活動や都心界隈での様々な市民のまちづくりの活動の成果として、都心部では高さや容積率を制限する新しい建築ルールが導入されている。
- ・ 会が取り組む地域資源を活かした様々なイベントは市内各地に広がり、町式目制定は市内だけでなく、全国のまちづくり現場に広がっている。

5. 今後の課題等

- ・ 会では『美しい都市づくり』は「住みここのよい都市づくり・界隈づくり』を目標に、さらに持続可能なまちづくりをめざし取り組んでいる。

歴史的都心街区でのまちなか再生 姉小路界隈を考える会の10年の取組

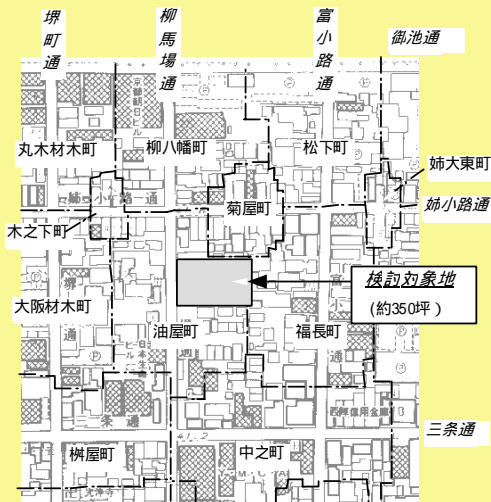
平成17年12月

姉小路界隈を考える会



1 姉小路界隈を考える会の設立

平成7年夏 旧京都ガス本社跡地で分譲マンション計画
姉小路界隈を考える会の設立へ（平成7年10月）



2 姉小路界隈を考える会の活動概要



看板の似合うまちづくり

みんなで考え、
みんなの手による
まちづくり



灯りでむすぶ
姉小路界隈



花と緑でもてなす姉小路界隈



会報の発行

3 地域共生の土地利用検討会の取組と成果

会設立の契機となった土地において平成11年1月から、地元住民・事業者・行政のパートナーシップによる基本計画づくりに取り組み、2年間の取組でまちづくりプランをまとめました。建物は14年8月末に完成し、現在、入居者と地域との新しい交流が開始されています。

個々の利害調整を越えて、価値の共有へ



アーバネックス三条竣工



新しい交流の展開へ



